

セメント放射能濃度測定結果について
(2019年12月21日～2019年12月31日)

標記の件につきまして、栃木工場にて生産しましたセメントの放射能濃度測定結果を以下の通りご報告いたします。

測定結果は、いずれも2011年(平成23年)5月12日ならびに2011年(平成23年)6月16日に国土交通省が公表した原子力災害対策本部からの考え方の内容に則していることを確認しております。引き続き安心して弊社製品をご使用いただきますようお願い申し上げます。

また、岐阜工場(岐阜県本巣市)、赤穂工場(兵庫県赤穂市)、高知工場(高知県須崎市)ならびにグループ会社の八戸セメントにて生産・出荷しておりますセメントにつきましても、放射能濃度測定を継続しており、いずれもクリアランスレベルを下回っておりますので、併せてご報告いたします。

◇セメント放射能濃度

①栃木工場

(Bq/kg)

		Cs-134	Cs-137	I-131	合計
普通セメント	12月下旬生産品	不検出	不検出	不検出	不検出
高炉セメント	12月下旬生産品	不検出	不検出	不検出	不検出

測定機関：(株)中研コンサルタント

※早強セメントは生産なし

上旬：1日～10日、中旬：11日～20日、下旬：21日～31日

採取した複数の検体は、上旬、中旬、下旬で、それぞれ合併し、合併した検体の測定値を記載しております。

不検出：放射能濃度が検出下限値(10ベクレル/kg)未満

以上